

2016年3月10日

～ 毎月10日は「人権を考える日」 ～



人権の大切さ

2月6日（土）平成27年度西条市人権・同和教育研究大会が大会テーマ「西条市に“人権文化”の花を咲かせよう」のもと開催されました。全体会や分科会（就学前教育、学校教育、社会教育、企業・行政）において真摯な取組についての実践発表、活発な研究協議が行われ、充実した大会でした。

人権というと「人権は、むずかしい」「ややこしいもの」という意見を聞くことがあります。本当にそうでしょうか。

「人権」について自分自身で決めつけ、意識したり、考えたりすることを、意図的に避けているのではないのでしょうか。

人権とは、私たちが人間らしく生きるための権利です。人種や民族、性別などの違いにかかわらず、全ての人に共通して備わっている権利です。決して、行政や専門家だけが取り扱うものではありません。全ての人を取り組まなければならない問題です。

各種講座や研修会、各公民館で実施されている地区別懇談会（学習会）などに参加した方々からは、「むずかしく考えていた」「身近な問題から考えていきたい」「日々の生活の中に人権がある」「固定観念は怖い」「分かっているつもりだったが、知らなかった」「まず、家庭から始めたい」などの意見や感想が寄せられています。

私たちが生活している社会には、家庭・地域・学校・職場などがあり、職場やそれぞれの場面に応じた価値判断に違いもあります。その中でも、最優先されるものは、「人権」ではないのでしょうか。

ややもすると、私たちは、日々の忙しさについつい流されがちですが、時には、立ち止まり「人権」について、意識したり、考えたりする時間が必要ではないのでしょうか。そうすることにより、さまざまな人の人権が見えてくると思います。

私たちは、一人で生きているわけではありません。一人ひとりがお互いの違いを認め他の人の人権を守ることが、ひいては、自分の人権を守ることにもつながります。

子どもたちは、すでに、学校で学んだことを校内の集会や学習発表会はもとより、地区別懇談会（学習会）等に参加し、発信しています。

地区別懇談会に参加した生徒の感想は、「現状を知るという意味でも大きな意味があった」「前向きに考えてくださる方が多く、互いに尊重し合える社会にすることができると感じた」「多くの人に正しく理解してもらうことは難しいことだが、それをできるのは正しく学んだ私たちだと思うので、これからも、一歩前に踏み出して、心の底から伝えていきたい」など、前向きで建設的なものがたくさんあります。

人権について、一緒に考えてみませんか。

西条市人権教育協議会・西条市教育委員会